

令和7年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) **国補** 県単

事業名	治水事業〔基幹河川改修事業（国補）〕	事業箇所	笛吹市石和町広瀬	地区名	渋川（広瀬工区）	事業主体	山梨県																						
計画期間	当初計画 H27～R6	現計画 H27～R7	変更計画 H27～R9	④特記事項（関連事業概要等） ・既整備内容 河川改修 L=3,780m（対象区間下流部） ・整備期間 S62～H25 ・事業費 51.9億円																									
総事業費	800 百万円	800 百万円	1,200 百万円																										
（1）事業の概要				⑤これまでの評価状況 ・なし																									
①事業目的及び効果 一級河川渋川は、笛吹市石和町市街を貫流し、峡東浄化センター付近で一級河川濁川に合流する流路延長6.2km、流域面積7.9km ² の河川である。事業区間は流下能力が低く、現況の治水安全度は1/1.5程度の規模しか有しておらず、台風など豪雨の度に水防活動を余儀なくされている。また、護岸は空石積の老朽化した施設であることから、早期の改修が必要であったが、これまで下流区間が未整備であったことから、事業着手できない状況であった。 平成25年度に下流区間の整備が完了したことにより、当該事業区間について着手。引き続き河道拡幅を行い、治水安全度の向上を図る必要がある。																													
□主要目標 ○洪水被害の防止 ・改修目標流量に対する現況流下能力の割合：0.2≦0.4以下※ ・浸水被害又は水防活動の実績：有 ※評価基準値				（2）事業位置図等 																									
□副次目標 —																													
□副次効果 —																													
②事業概要 30年に1度の割合で発生する洪水を河道で安全に流下できる改修を進める。 全体計画施工延長 L=600m 治水安全度 5m ³ /s（1/1.5）→ 25m ³ /s（1/30）				（2）事業位置図等 																									
③全体計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th><th>令和6年度まで</th><th>令和7年度 （評価実施年度）</th><th>令和8年度以降</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">現計画</td><td>工事内容</td><td>護岸工 橋梁工 測量設計 用地取得・補償</td><td>護岸工 橋梁工</td><td rowspan="2"></td></tr> <tr> <td>事業費</td><td>650 百万円</td><td>150 百万円</td></tr> <tr> <td rowspan="2">変更計画</td><td>工事内容</td><td>護岸工 橋梁工 測量設計 用地取得・補償</td><td>護岸工 橋梁工 用地取得・補償</td><td>護岸工 橋梁工</td></tr> <tr> <td>事業費</td><td>668 百万円</td><td>130 百万円</td><td>402 百万円</td></tr> </tbody> </table>										令和6年度まで	令和7年度 （評価実施年度）	令和8年度以降	現計画	工事内容	護岸工 橋梁工 測量設計 用地取得・補償	護岸工 橋梁工		事業費	650 百万円	150 百万円	変更計画	工事内容	護岸工 橋梁工 測量設計 用地取得・補償	護岸工 橋梁工 用地取得・補償	護岸工 橋梁工	事業費	668 百万円	130 百万円	402 百万円
		令和6年度まで	令和7年度 （評価実施年度）					令和8年度以降																					
現計画	工事内容	護岸工 橋梁工 測量設計 用地取得・補償	護岸工 橋梁工																										
	事業費	650 百万円	150 百万円																										
変更計画	工事内容	護岸工 橋梁工 測量設計 用地取得・補償	護岸工 橋梁工 用地取得・補償	護岸工 橋梁工																									
	事業費	668 百万円	130 百万円	402 百万円																									
※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。																													

2.評価シート（1）

（1）事業を巡る社会経済情勢等の変化

（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）

①地域・住民の意向状況

- ・変化なし

②産業・経済情勢

- ・労務費・建設資材費の上昇

③国等の方針

- ・変化なし

④上位計画・関連事業計画等

- ・「山梨県総合計画」（令和5年10月改訂）
- ・「山梨県強靱化計画」（令和6年3月改定）
- ・「山梨県社会資本整備重点計画（第四次）」（令和4年9月改定）

⑤自然環境条件等

- ・変化なし

⑥その他

- ・なし

（2）評価時点の費用対効果分析

項 目		着手時点	変更計画時点
総事業費		800 百万円	1,200 百万円
工 期		H27～R6	H27～R9
経 済 効 率 性	評価基準年	H26	R7
	費用	722 百万円	1,467 百万円
	事業費	661 百万円	1,325 百万円
	維持管理費	61 百万円	142 百万円
		百万円	百万円
	便益	2,060 百万円	2,103 百万円
	一般資産被害防止額	726 百万円	871 百万円
	公共土木施設等被害防止額	1,210 百万円	941 百万円
	その他※	124 百万円	291 百万円
B／C		2.9	1.4

費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上

費用便益比（B/C）は1.0を超えており、経済効率性は確保されている。

※その他は、間接被害防止便益

※一般資産被害防止額と公共土木施設等被害防止額の便益比の差については、治水経済マニュアルの変更による。

（3）これまでの計画変更等の概要

軽微な変更

（令和2年度）

工事着手が遅れたことによる事業期間の見直し

・完成年度 令和6年度 → 令和7年度

評価シート（２）

（４）事業進捗状況及び見込み

①進捗率

- ・別表のとおり。
- ・7年度進捗率（現計画）100%→（実績）99.8%
→（変更計画）66.5%

②進捗率実績が計画と相違している理由

- ・用地取得に不測の日数を要したことにより、工事着工時期に遅れが生じた。
- ・本河川は、現況河道が狭いことに加え、改良後との断面差が大きいこと、工事施工に伴う仮排水路の設置等、複数工区での施工が困難である。そのため、下流側から順に施工する必要がある、非出水期内で施工可能な工事量に限りがある。
- ・河川改修に伴い架け替えが必要な市道橋（4橋）について、進入路が狭く特殊な施工機械が必要となることから、当初の想定より期間を要している。

③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
橋梁工	240 百万円 増	・軟弱地盤対策として杭基礎を追加施工したため
護岸工	80 百万円 増	・切土面の崩落対策として吹付工を追加施工したため
用地補償	80 百万円 増	・補償内容の見直しのため
合 計	400 百万円 増	

④事業期間の変更理由及び進捗予定

- ・本河川においては、現河道が狭く、改良後との断面差が大きいことから複数工区での施工が困難であり、下流側から順に施工する必要がある。
- ・架け替えが必要な市道橋（4橋）があり、進入路が狭く特殊な施工機械が必要となることから、当初の想定より期間を要している。
- ・これらの理由により、事業期間の延長が必要となったことから、事業期間を2年延長し、令和9年度の完了を予定している。

⑤今後の事業執行における留意点

- ・進捗管理を適正に行い計画とおりの完了を目指す。

（５）環境負荷等への配慮

- ・護岸形式について、計画河床より上部を石積み工とし、周辺景觀に配慮した河川整備を進める。
- ・植生の回復を図るため、河道内に置石工を設置するなど、水際や河床環境に多様性を持たせる方針で河川改修を行う。

（６）コスト縮減の可能性

- ・工事に伴う掘削土を他工事に流用することにより、コスト低減を図る。

（７）代替案立案の可能性

- ・なし

（８）所管部の今後の方針 継続（見直し継続）・その他（ ）

（理由）

- ・河川氾濫による災害の発生を防止するため、事業費の増加及び事業期間の延長をすることで、令和9年度の事業完了を目指す。

○別表-進捗率（事業費ベース）

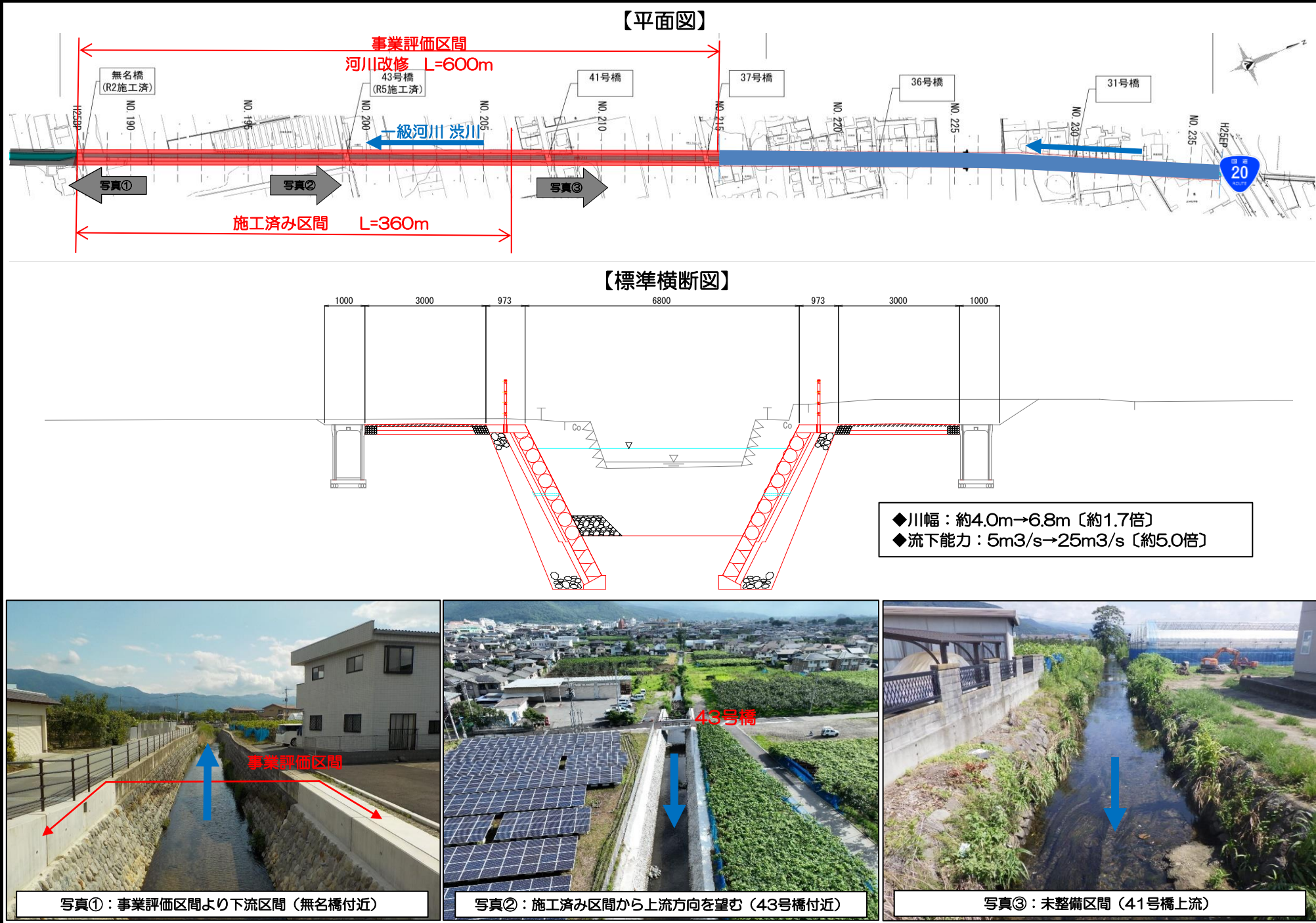
算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費／総事業費×100

単位：％

	年度	*H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	*R7	R8	R9
現	計画	3.8	15.8	27.9	35.4	44.1	52.8	63.9	72.6	83.8	96.3	100.0		
	実績	3.1	3.1	7.3	9.9	14.8	31.0	41.0	51.0	67.3	83.5	99.8		
変更計画												66.5	83.2	100

*事業着手年度又は評価年度 *R7年度以降の実績は見込み

3. 添付資料シート（1）



これまでの浸水・増水被害状況

至 笛吹市役所

The map displays the Sagami River area from its confluence at Wakiwa to the city hall. It identifies several bridges with their lengths (L) and widths (W), such as Ohtani Bridge (L=67.0, W=22.0) and Sakurazaka Bridge (L=69.7, W=22.0). A red line indicates a 600m section of the river. Numbered points ① through ⑥ mark specific locations along the riverbank.

至 濁川合流部

山梨県 雨量・水位情報

表示期間: 1 日

雨量グラフ「石和」

観測データ 日時:分	時間 [mm]	累計 [mm]
06月 18:00	0	38
06月 12:00	0	28
06月 16:00	27	38
06月 15:00	11	11
06月 14:00	0	0
06月 13:00	0	0
06月 12:00	0	0
06月 11:00	0	0
06月 10:00	0	0
06月 09:00	0	0
06月 08:00	0	0
06月 07:00	0	0
06月 06:00	0	0
06月 05:00	0	0
06月 04:00	0	0
06月 03:00	0	0
06月 02:00	0	0
06月 01:00	0	0
05月 24:00	0	0
05月 23:00	0	0
05月 22:00	0	0
05月 21:00	0	0
05月 20:00	0	0
05月 19:00	0	0

観測箇所情報

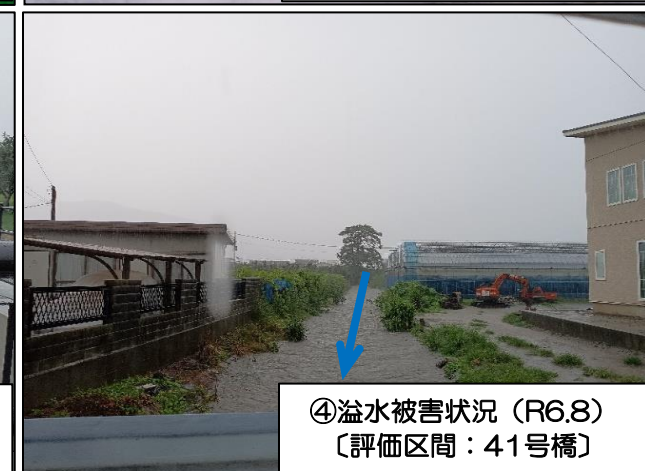
雨量局 観測所名 石和
河川名
管理有 峡東建設事務所

The bar chart shows hourly rainfall (blue bars) and cumulative rainfall (green line) for the Iwakawa station. The x-axis represents time from 05:19:00 to 06:13:00. The y-axis shows both instantaneous rainfall [mm] (left scale, 0-40) and cumulative rainfall [mm] (right scale, 0-50). A significant peak in rainfall is observed around 06:13:00, reaching approximately 27 mm.

時間雨量[mm]
累計雨量[mm]

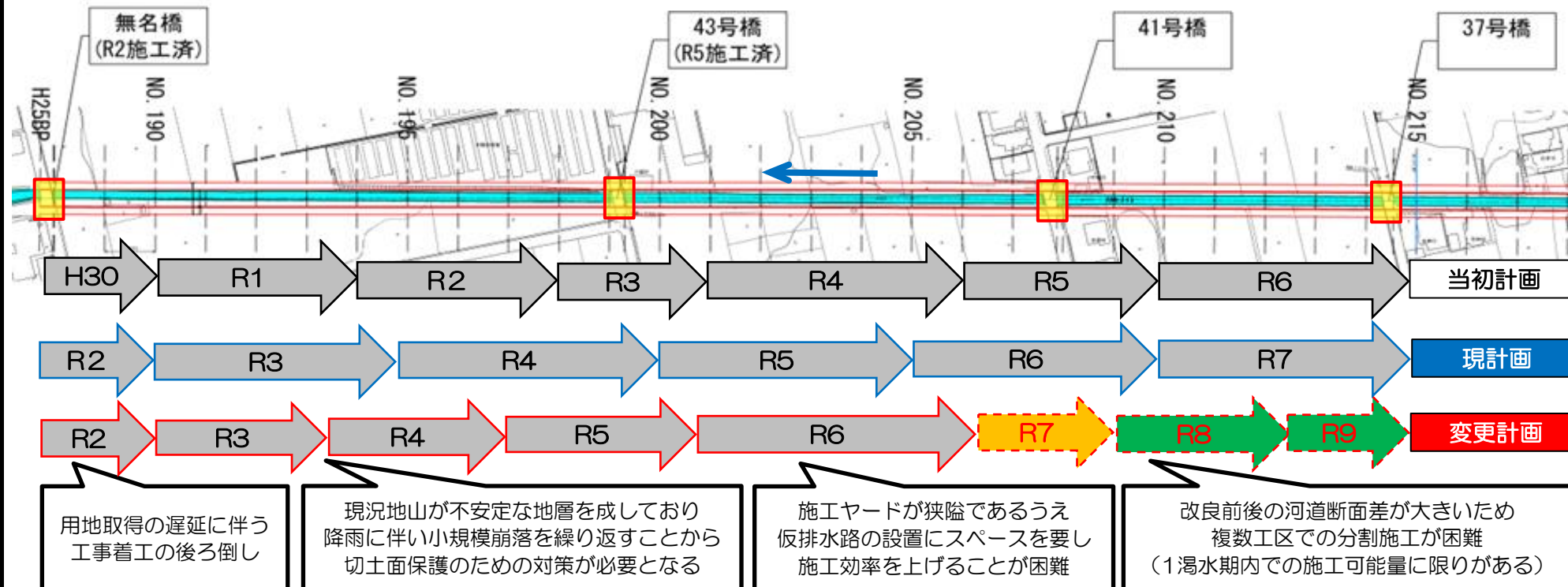
出典：山梨県 雨量・水位情報（令和6年8月6日「石和」）

令和6年8月、国道20号より下流部において局所的かつ短時間な豪雨に伴う洪水が発生（写真③～⑥）。なお、施工が完了している43号橋直上流（写真③）より下流区間においては洪水被害が確認されなかった。



3. 添付資料シート（3）

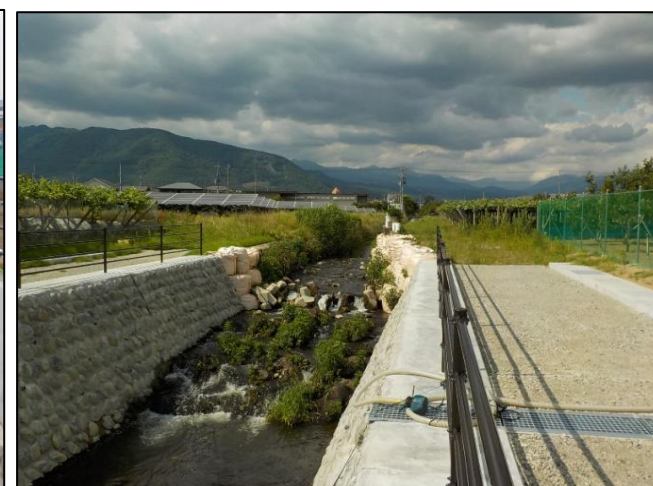
事業進捗状況（進捗率実績が計画と相違している理由）



橋梁部における軟弱地盤対策の追加
(基礎工：マイクロ全回転工法)



狭隘な施工ヤードにおける仮排水路



改良前後の河道断面差（幅・高さ）が大きい

4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H27	25,000	詳細設計、用地測量、調査	2.1
H28	0	—	2.1
H29	33,000	詳細設計、用地測量、調査	4.8
H30	21,000	用地補償	6.6
R1	39,000	用地補償、詳細設計	9.8
R2	130,000	護岸工、橋梁工	20.7
R3	80,000	護岸工	27.3
R4	80,000	護岸工	34.0
R5	130,000	護岸工、橋梁工	44.8
R6	130,000	用地補償、護岸工	55.7
R7	130,000	用地補償、護岸工、橋梁工	66.5
R8	200,000	護岸工、橋梁工	83.2
R9	202,000	護岸工、橋梁工	100.0
合計	1,200,000		